

【 部門目標・評価 】

目 標

1 医療安全文化を醸成するために事例検討会参加率や研修受講率を上げる

【目標1】 院内の医療安全管理委員会は下記2つの条件をクリアする。

○初期研修医師 8回以上／年の参加を義務付け、目標達成した初期研修医には修了書を発行する

○委員会メンバー以外の参加

平均10人／回 事例検討の当該部署、SCT委員を含む病院職員

【目標2】 研修受講率100%達成を目指す。

○全体研修会 2回 (6月 10月)

第1回 e-ラーニングの受講

第2回 e-ラーニングの受講

(但し、視聴時間の合計が15分未満の場合は受講とみなさない)

テーマ 1 e-ラーニングの受講

08-13-1 患者確認と指差呼称 8分51秒

08-13-2 指差呼称って何だろう 1分42秒

02-06 外来での取り違いによる誤注射 4分29秒

テーマ 2 集合研修+e-ラーニングの受講

「診療録・記録の重要性-裁判事例からの学び」

2 新電子カルテに伴う医療安全マニュアルの改訂(第6版の策定)

○各部門と連携しマニュアルの改訂を進める

3 事例検討の活性化を図る

【目標1】 RCAやImSAFERなどの分析手法を使用し、事例検証の精度を上げる。

○SM会議のメンバーとともに医療安全室で事例検討を行う。(2回／年以上)

○発生部署のスタッフが主体的に事例検討が行えるよう医療安全管理者が支援する。(2回／年以上)

【目標2】 医療事故調査に関わる会議の開催(M&Mカンファレンスや状況確認会議等)

○有意義な意見交換をするためのマネジメント

・事例に関連した資料の確認

・カンファレンス当日のファシリテーターの選出と進行内容についての協議

・感染対策を考慮しながら、病院職員が参加できるための工夫

評 価

【目標1】 初期研修医は第11回までの開催の中で4~5回の参加状況

委員会メンバー以外の参加人数は5~12人/回で平均すると8人となる。

次年度は出席率が向上するよ委員会メンバーを検討する。また当日参加できなかった委員へメール配信で周知する。

医療安全管理委員会の内容についてはレポート集計、事例検討は継続。薬剤疑義照会は発表の有無や方法について検討する。

【目標2】 6月に第1回 全体研修会 e ランニングの受講を行い医局 64.5%、それ以外 100%の受講率となった。

1月に第2回 全体研修を実施。(講義と e ラーニング) 受講率は医局 54%、それ以外 100%となった。

2. 医療安全管理マニュアルは内服・外用マニュアルは改定済み、注射マニュアル改訂中、医療安全マニュアル（ハイリスク薬）改定済みである。

3. 事例検討については、医療安全管理委員会で取り上げる報告内容を検討することに留まっていたSMチームで行う分析は実施していない。

次年度は自部署で分析した事例を会議で共有するなど時間内でできる方法を検討する。

インシデント発生部署へラウンドへ行き改善策検討の支援を行っている。

次年度もタイムリーにラウンドに行き、改善できるよう支援を継続する。

また多部署での意見交換ができるように医療安全管理委員会の事例検討も継続する。

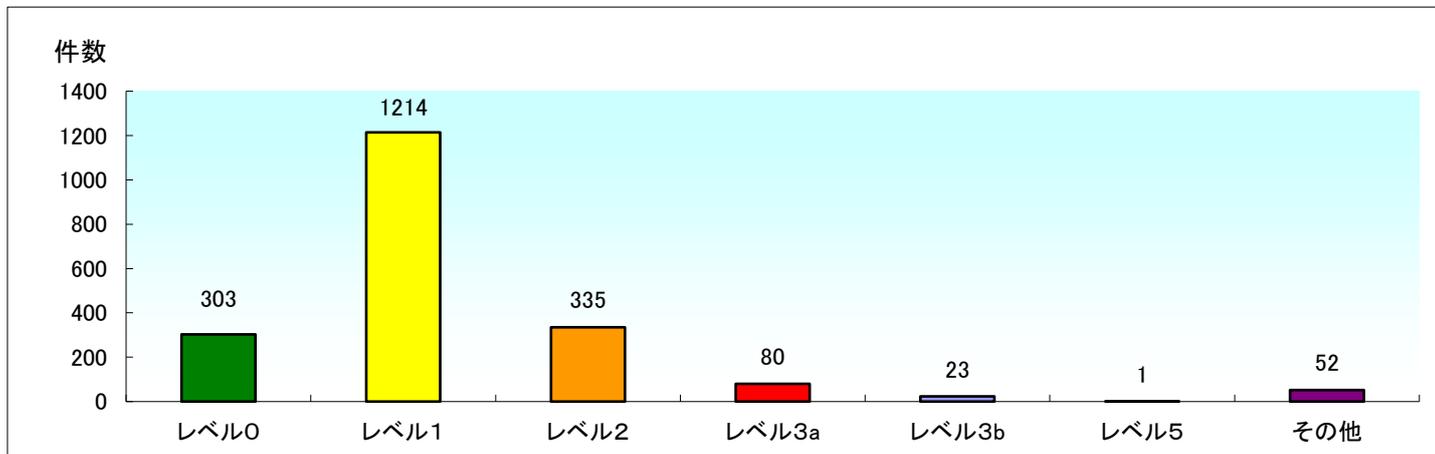
【 業務体制・スタッフ 】

役職名等	氏名	マネジメントに関する資格等	業務
医療安全室長 副院長	金澤 正樹	医療安全管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・院内の医療安全管理体制の構築・推進 ・医師を対象とした医療安全管理の啓蒙指導 ・M&M カンファレンスの企画・運営
副医療安全室長 (専従)	小野寺 幹	医療安全管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全対策の体制確保のための各部門との調整 ・医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修の企画・実施・評価 ・重大な事故発生時の院内の組織的な対応 ・訴訟等に関する弁護士・保険会社との調整
医療対話推進者 (専従)	伊藤 由華利	医療対話推進者	<ul style="list-style-type: none"> ・患者や家族からの苦情および相談・暴言暴力対応に関する研修の企画・運営
医薬品安全管理責任者 (兼任)	野崎 利浩	医療安全管理者 医薬品安全管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品安全使用のための研修の企画・運営 ・医薬品安全使用のために必要となる情報の収集及び院内周知
医療機器安全管理責任者 (兼任)	田野 史晃	臨床工学技士	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器安全使用のための研修の企画運営 ・医療機器の保守点検の適切な実施についての監査及び指導・情報収集及び周知
医療安全担当 事務	田口 博一		<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する会議・研修会の庶務

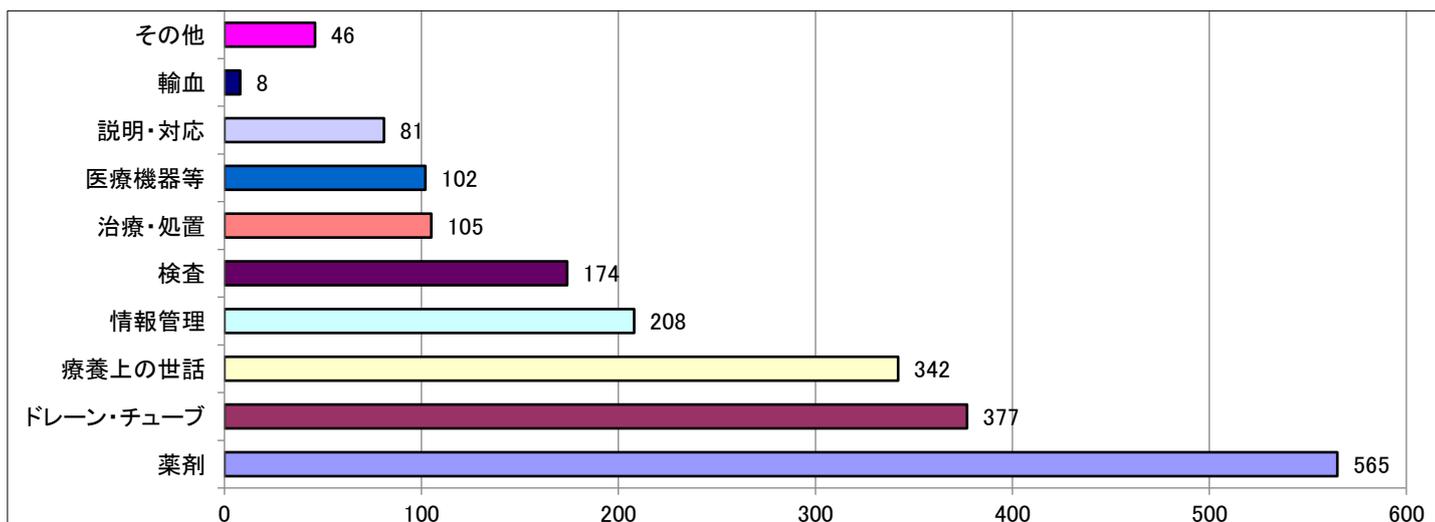
【業務実績】

〈インシデント報告数より〉

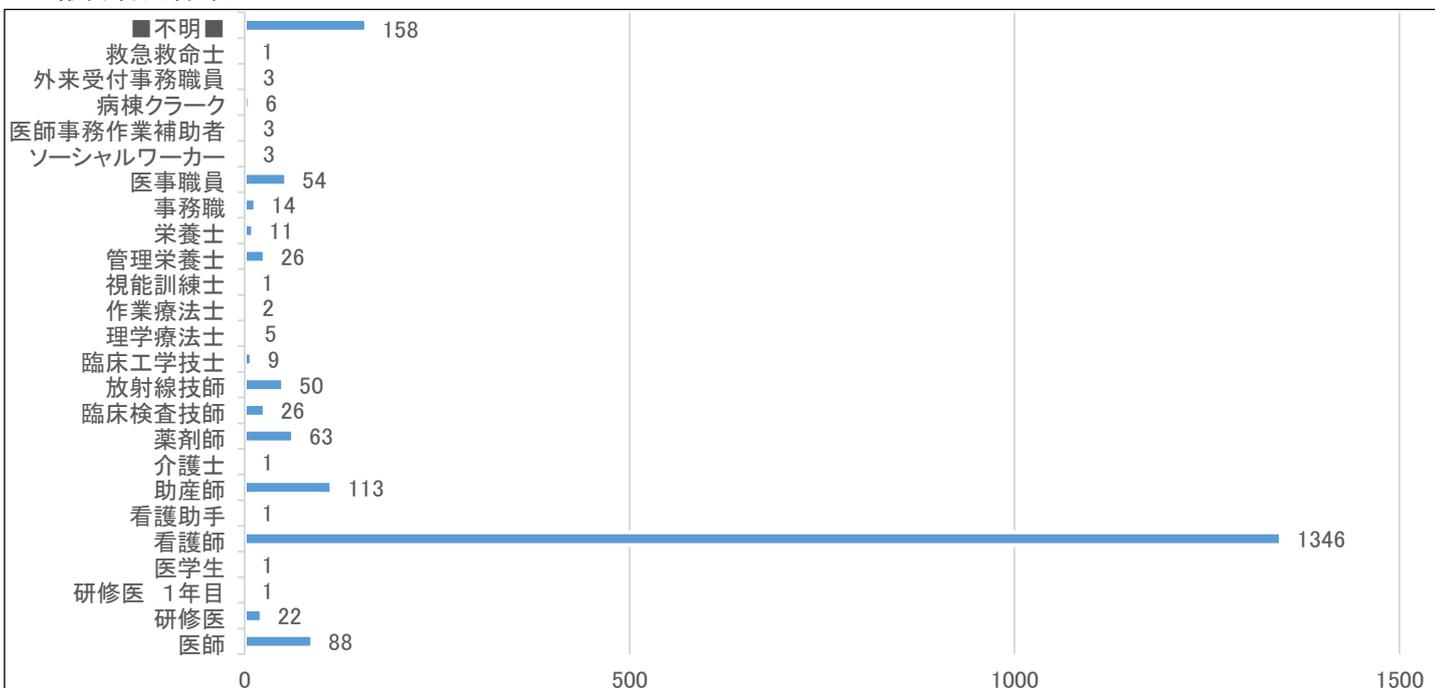
1. 報告総数:2008 件	インシデント(レベル3a 以下)	1932 件
	アクシデント(レベル3b 以上)	24 件
	その他(暴言・暴力、苦情、レベル不明など)	52 件



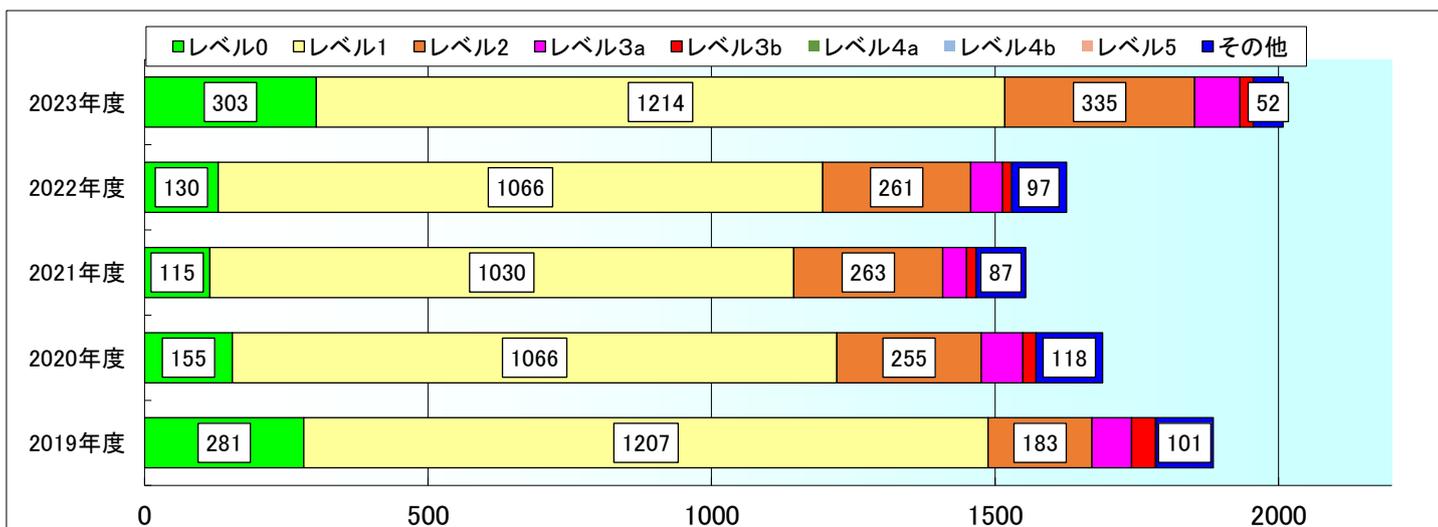
2. 報告内容別件数



3. 報告者別件数



4. レベル別報告数 年度別推移



【令和5年度 医療安全研修】

分類	テーマ	内容	開催月	対象者	受講者数
必須研修	第1回 医療安全研修会	eラーニングの受講 08-13-1 患者確認と指差呼称 08-13-2 指差呼称って何だろう 02-06 外来での取り違いによる誤注射	6月 ～ 7月	全体	延べ 498人
	受講率 93%				
	第2回 医療安全研修会	集合研修 「診療録・記録の重要性-裁判事例からの学び」 研修会終了後のeラーニングの受講	1月 1月 ～ 3月	全体	延べ 468人
受講率 90%					
医療安全教育	新採用者オリエンテーション	医療安全の基本的な考え方	4月	新採用者	87人
	中途採用者オリエンテーション	医療安全の基本的な考え方	9月 2月	中途採用者	
	輸液ポンプ・シリンジポンプ研修会	使用方法・取扱の説明	4月	新規採用者 看護師 研修医	52人
薬剤	第1回 医薬品の安全使用講習会	1. グルドバ注について 2. 新電子カルテ 薬剤関連運用変更点	6月	全体	50人
	第2回 医薬品の安全使用講習会	1. プロラムロ口腔用液の使用 2. 腎機能に応じた薬剤量調整	2月	全体	16人
薬剤 その他	心肺蘇生研修	BLS	随時	全体	全職員
	心肺蘇生研修	ICLS		希望者	22人

【令和5年度 資格取得・更新研修受講】

受講研修	職種	取得人数	更新
医療安全管理者	看護師	4名	—
	臨床検査技士	1名	—

【1年間の総括】

インシデントレポートの報告件数は前年度より382件増加した。

報告件数が増加した背景の中に、新電子カルテの運用の影響が挙げられた。業務内容を改訂していくことで報告事項は減少した。

全報告件数の中で、医師の報告割合は4.3%、研修医の報告割合は1.1%だった。継続的に医師の積極的な報告の推奨、診療局における研修医への指導が重要とされる。

前年度に引き続き、日々提出されるインシデントレポートの中で職種や職位により、医療倫理に対する心がけの違いがあることから、今後も病院全職員が一丸となって取り組む課題となる。

- 1 医療安全管理委員会の活性化（事例検討を重視）
- 2 インシデントレポートの積極的提出
- 3 医師の提出率UP 目標10%（通常5%程度が推奨される）
- 4 オカレンス項目の設定と手術バリエーション報告の徹底
- 5 死亡事例の全症報告
- 6 インフォームド・コンセントのガイドライン策定・改訂及び遵守
- 7 M&Mカンファレンスの開催
- 8 産科保障制度や医療事故調査制度の活用
- 9 研修への参加促進（受講率目標100%）